

# 全介協会長が現地リポート

未曾有の大災害から約2カ月。いまだ孤立した高齢者の姿を多く見かけ、本紙コラム「介護カイド帳」の上原光氏(全国介護者支援協議会会長)が、被災地の現状をリポートする。

連休前、全協のスタッフ

376人、仙台支部の応援4

人の計10人で、4.車を含

むらの上のトックで宮城県

内の老人施設を回ってきま

した。

うちの会員でもある「ア

ルバジャパン」から寄贈さ

れた車いす50台と、鎌馬区

から託された靴おむつ、毛

布など段ボール820個分

を東京の人も目に焼き付け

ておくべきかもしれないませ  
ん。なぜなら、首都直下型  
地震も、いずれ来る。か  
らです。その時の心構えで  
す。

我々が回った大崎市、栗

原市、登米市……は海沿い

ではありません。そのた

め、この場所は新聞やレ

ディビからほとんど無視され

た格好です。

しかし、高齢者が本当に

困っている場所とは、実は

このように山側の土地なので

す。施設を建てる必要介

者が大勢移り、4人部屋

は、畳を10枚ほど積み上げ  
を防ぐ「下口ミ判」も不足  
になっていて、床は寝かせ  
ていないが、介助の位置が  
低いと、看護婦もルバー  
さんがすぐ膝を痛めしま  
うからです。中口いいか  
「ミ、すべて持ち帰るのが  
鉄則です。トイレは、主

す。さらに、食卓の詰まり

困っただけのことでした。

# 大マスコミが報じない 被災老人ホームの実態

避難所に行った際、こ  
こを出ようかと相談して  
いる認知症の親を抱える家  
族と出会いました。「迷惑  
だから出てほしい」と  
言われたんです。確か  
に荷物を占むんです。確非  
にもある。被災から1カ月

だからといって、老  
人ホームはすぐに見つ  
からない。車で夜泊ま  
りするようになる。テ  
レビが伝えない「現  
況」ではないんです。

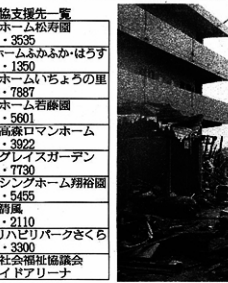
東京や大阪の人がすべ  
きところも見えました。  
簡易トイレ、尿漏れパツ  
ド、先ほどのトイレの備  
置は必須。さらに重要な  
は、防災訓練です。9月1  
日は「防災の日」です。

ほとんどの人は消防車で放  
水シューをやる日ばかりに  
しか思っていないのでし  
ょう。即ち、マンション組  
合で自治体が後生大訓練し  
て、善い悪い阪バや角砂糖



「認知症は迷惑だから出ていけ」の声も

への疑問も浮かびます。  
へつと抱いていることに  
「たぐひ」提案も任せて  
るでしょう。  
地盤は必ず来ます。東北  
への被災地には救護物資を  
送る東京の人は救護物資に  
頼らなくてもいい準備をす  
べきです。



- 全介協支援先一覧
- ①養老老人ホーム松寿園
  - ☎022-382-3535
  - ②グループホームふかふか・ほうす
  - ☎0229-87-1350
  - ③特養老人ホームいちょうの里
  - ☎0228-22-7887
  - ④特養老人ホーム若森園
  - ☎0228-32-5601
  - ⑤老健施設高森ロマンホーム
  - ☎0228-22-3922
  - ⑥老健施設グレイスガーデン
  - ☎0228-32-7730
  - ⑦南方ナースینگホーム翔裕園
  - ☎0220-58-5455
  - ⑧老健施設晴風
  - ☎0224-22-2110
  - ⑨老健施設リハビリパークさくら
  - ☎0224-58-3300
  - ⑩南三陸町社会福祉協議会  
リバーサイドアリーナ

